

赤煉瓦の旧酒造工場から、
東京北区の未来をひらく

旧醸造試験所 及び跡地公園 保存・利活用 シンポジウム

明治37年に建てられた国の重要文化財「旧醸造試験所第一工場」。
普段は入れない内部を見学し、醸造・施設再生・観光の専門家と、
建物と公園をまちの新しい拠点として活かす未来を考えます。



2026

11.04

水

14:00-16:00

開場 13:30

参加無料

会場

日本醸造協会 会議室
(北区滝野川2丁目6-30)

対象

施設・公園の活用やまちづくりに
関心のある事業者・区民など

定員

30名
(※先着順)

PROGRAM | プログラム

01 見学会

14:00-14:30

ガイドと巡る、赤煉瓦の旧酒造工場。日本酒づくりを支えた空間を体験します。



02 シンポジウム

14:40-16:00

ゲストトーク+クロストーク
3つの専門分野から、利活用・継承の可能性を探ります。

※終了後、名刺交換の時間を設けます。



GUEST SPEAKERS | ゲストスピーカー



日本酒学

岸 保行

Yasuyuki Kishi

新潟大学 日本酒学センター
センター長／経済科学部 教授

「日本酒学」の立ち上げに参画。酒蔵経営や海外展開、日本酒の「物語」が持つ価値を研究。



施設再生

松島 孝夫

Takao Matsushima

株式会社エンジョイワークス
取締役

建築設計分野から事業企画、コミュニティ形成分野まで、全国各地で幅広い事業プロデュースを実施。

地域観光

一般社団法人東京北区観光協会
※登壇者調整中

お申込み



←申込は二次元コードから
締切：11月2日(月) 正午

<https://forms.cloud.microsoft/r/MZjviUhEtM>

主催 東京都北区
協力 公益財団法人 日本醸造協会

お問い合わせ
株式会社地域計画建築研究所
(略称：アルパック)
担当：山口・高瀬・山本
TEL：075-221-5132